

眼鏡学教本 初版に誤りがございました。読者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。  
訂正してお詫び申し上げます。

## 正誤表

### ■13P左段 2.3.2 弱主経線方向の3行目

誤：垂直方向に強主経線をもつ眼が多くなる。

正：垂直方向に弱主経線をもつ眼が多くなる。

### ■15P左段下から12行目～下から7行目

誤：

(4) 斜視

強度近視ではしばしば白内障を伴う。中年以後に起こる核白内障が特徴であり、それに伴って近視度数がさらに増加する。(白内障手術では、レンズ度数が0D前後であっても眼内レンズを挿入することで、術後の網膜剥離が減少傾向になると言われている)

正：

(4) 斜視

近視の未補正あるいは弱補正では、輻輳と調節の不均衡が起り、輻輳不全を起こし外斜位となり、ついには外斜視になることがある。

### ■20P右段下 図3-5のキャプション

誤：40cm にピントを合わせるのに必要な調節

正：40cmにピントを合わせるのに必要な調節量

### ■39P左段 6.1.1 遠方両眼瞳孔間距離測定の一例 ⑤の1行目

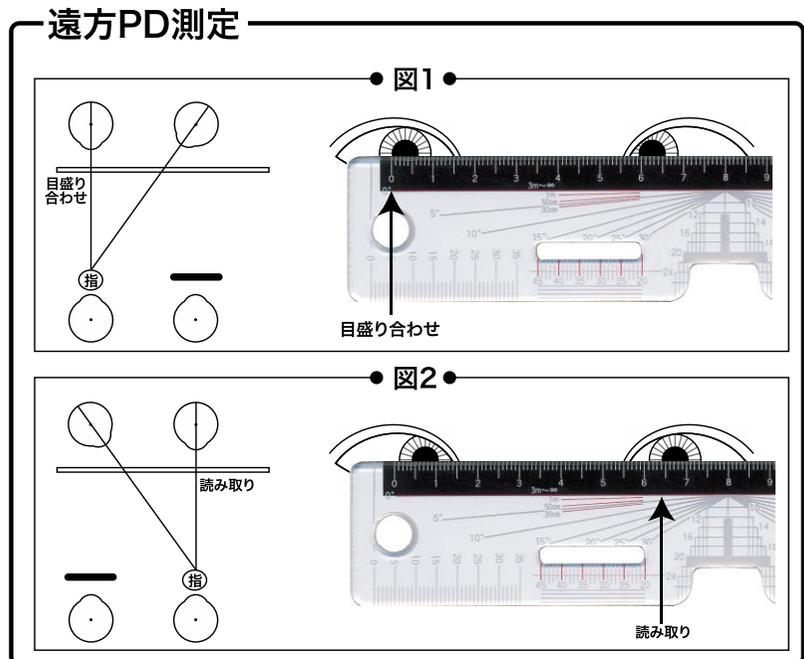
誤：相手の右眼の正面

正：相手の左眼の正面

### ■40P図6-1内の図1および図2

誤：図

正：以下の図にサシカエ



■41P図6-2

誤：図

正：以下の図にサンカエ

遠方モノキュラーPD測定

鼻梁中心

RPD LPD

鼻梁中心とPD差しのセンターを合わせる

瞳孔下辺にPD差しスリットの目盛りを合わせる

● 図1 ●

読み取り

指

読み取り

● 図2 ●

読み取り

指

読み取り

■46P左段 6.4.4 偏光レッドグリーン法の一例

③の3行目

誤：右眼に

正：左眼に

③の5行目

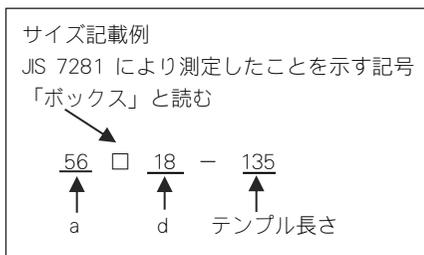
誤：右眼に

正：左眼に

■92P右段上図1-10 サイズ記載例

誤：図

正：以下の図にサシカエ



■93P図1-13 玉型デザインとその特徴の最後多角形〔オクタゴン・ヘキサゴン〕の説明文

誤：はっきりとした5つ（ヘキサゴン）または6つ（オクタゴン）の角がある。

正：はっきりとした6つ（ヘキサゴン）または8つ（オクタゴン）の角がある。

■190P右段上から4行目

誤：いもの対しては、

正：いものに対しては、

■195P左段上から9行目

誤：ためにプラス度数では

正：ためにプラス度数では

■198P左段上から5行目

誤：（以下FCもおOCに統一する）

正：（以下OCに統一する）

■204P左段上から13行目

誤：鋭角な場合の

正：鈍角な場合の

■208P右段下から4行目

誤：たりしやすくその結果がたつきやすくなってしまう。

正：たりしやすくなってしまう。

■224P左段下から5行目

誤：フロント側の丁番側や

正：フロント側の丁番や

■226P右段上から5行目

誤：堅牢さは欠けるが

正：堅牢さには欠けるが

■227P右段下から3行目

誤：廉価でパーツもされている

正：廉価でパーツも用意されている

■303P段 2-8 視野の障害の1行目～3行目

誤：視野が欠けてくる疾患については「眼の自覚症状と眼疾患」の項にリストしてあるので、ここでは詳細は省くが、前述のように

正：視野が欠けてくる疾患は多数あるが、前述のように